



# バドミントンの 大会マナー

すべてのスポーツがそうであるように、バドミントンにも暗黙のマナーがあります。意識していなければ、知っていてもついつい忘れてしまうことや、やってしまいがちなNG行為があります。対戦相手に対し、同じ競技をする仲間としての敬意や感謝の気持ちをもって正々堂々とたたかきましょう。これは、バドミントンが上手い下手などの技術面以前に、とても大切なことです。

## 試合中意識してやること

### ① 試合開始時にあいさつをする

主審の「ラブオール、プレー」でゲームが開始されたら、主審→線審→対戦相手に「お願いします」と軽く礼をしながらあいさつをしましょう。

### ② シャトルを積極的に拾う

ミスをした方がシャトルを拾うのが暗黙のマナーです。ネットにひっかけて、相手の方が近くても拾いに行きましょう。相手が拾ってくれたらお礼を言いましょう。

### ③ シャトルを丁寧に相手に返す

シャトルは丁寧に相手選手がいる方（ダブルスの場合はサーバー）へ軽くふんわりと打って返球しましょう。

### ④ 想定外な得点を得た場合は謝る

想定外な得点（①ネットイン②フレームショット③スマッシュ、プッシュが相手のボディに当たるなど）を得たときは「すみません」と一言謝りましょう。狙ったネットインなども、一言謝るのがマナーです。

## 試合中やってはいけないこと

### ① ネットの下をくぐる

移動するときにショートカットをしたいからとネットの下をくぐることはマナー違反です。大会では特に、ネットは既定の高さで張られています。故意に触れることは禁止されています。

### ② ネットをたたく

思ったようにプレーができなかったり、イライラして故意に物にあたるようなことは絶対にあってははいけません。①と同様に、ネットは既定の高さで張られているので注意をしましょう。

### ③ シャトルをネット下から渡す

知らないといつやってしまいがちなNG行為です。ネットの下にシャトルが落ちているからと、ほうきで掃くようにラケットで下から相手にシャトルを渡す行為はマナー違反です。

### ④ 相手をののしる声出し

自分やペア、チームを鼓舞する声掛け、声出しは大切ですが、相手をののしる声出しはみっともないのでやめましょう。相手の立場に立って、嫌な気持ちになるような行為は絶対にしてはいけません。